

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 6 号

平成30年6月25日発行
須賀川市立第二中学校
☎75-2910
発行責任者：校長 高崎則行

団体3競技、個人4種目で県中大会を制覇 県大会でも「心の躍動」を実感してほしい

中体連の県中地区総合体育大会が6月13日、14日の2日間にわたって開催されました。本校は、団体でソフトボール（女子）、バドミントン女子、ソフトテニス女子の3競技と、個人戦でも柔道男子で2階級優勝という輝かしい成績を収めました。（成績は次のページに掲載しました。）



印象深かった場면을2つ取り上げてみましょう。

2日目の午前中、私はソフトボールの優勝を見届けて、午後から柔道個人戦の決勝戦を応援に行きました。決勝に臨んだ男子3選手と女子の1選手が一様に表情を引き締めています。女子52kg級決勝では、五十嵐選手が先に送り襟絞めを見舞ったのが呼び水となったのか、一瞬の隙を突かれて逆に絞められて無念の敗戦となりました。勝負が一瞬で決ま



る柔道の怖さを実感しました。男子60kg級は、佐藤、関根、本校2選手による決勝です。勝負もさることながら「勝ち方」にこだわった主将・佐藤選手が何としても担ぎ技で一本を取りに行こうとします。関根選手がこれをよくしのいで反撃する様子は意地のぶつかり合いです。男子81kg級に出場した加藤選手は相手の技を十分警戒しながら、しかし要所で果敢に攻めて勝負をものにしました。勝負が決まった瞬間の、緊張感の残っている笑顔が彼の人柄をよく表しているように感じました。

その後、ソフトテニスを応援に行きました。まだ個人戦の女子ダブルスが行われていて、本校同士で決勝戦を争っていました。そこへ「校長先生、今度は勝ちました！」と早速声をかけてくれたのは、本紙第5号で紹介した男子ダブルスの会田・橋本ペアです。声を耳にしてすぐに思ったのは「すごく心が弾んでいるんだなあ」ということです。岩瀬地区大会決勝戦での敗戦以来、向上心または挑戦する心の「心のバネ」と、自制心や忍耐力などの「心のネジ」の両方を働かせて大会に臨んだからこそ実感できる「心の躍動」なのであり、それを実感している二人を心から賞賛したいと思います。そして、多くの生徒にこんな「心の躍動」を味わってほしいなと考えました。

さて、本年度は団体7チーム、個人戦で8組、10名（+体操男子）が県大会に出場します。そこにはもっと大きな「心の躍動」が待っているような気がします。大きく弾むことができるのは、深くしゃがみ込んで力をためるからです。部活動以外にも、これからのいろんな場面で、多くの生徒が「心の躍動」を体験し、将来を切り拓く力にしてほしいと念じています。



不審者から身を守る

不審者情報について、ご理解いただきたいことがあります。すなわち、

学校や須賀川市教育委員会が流す不審者情報は、児童生徒や保護者からの聴き取りをもとに被害防止を最優先に、注意喚起や見守りの強化などを目的として行なうものです。従って、必ずしも犯罪性が確認できたものだけを流しているわけではないことをご承知いただき、ご理解をお願いします。

最近新潟市内で起きた女子児童殺害事件の影響で不安が大きくなっている中、この付近でも不審者情報が増えている傾向があります。ご家庭や地域においても、次の4点を参考に児童生徒の安全確保にご協力をお願いします。

- 1 「自分の安全は自ら守る」という意識の大切さを繰り返し指導する。
- 2 「イカのおすし」を実行させる。
- 3 「子ども110番の家」など関係機関とのコミュニケーションを心がける。
- 4 危険を感じた事案は、速やかに警察に通報すると同時に、学校にも連絡する。



ひと味違うぞ! 二中学生

本校の体操着のメーカーである(株)クラロンの方がお出でになりました。雑談に興じているうちにこんなお話を聞かせてくれました。昨年度の出来事だそうです。

『コンビニに立ち寄ると、須賀川二中のジャージを着た女子生徒が立っていました。迎いの車を待っていたのでしょうか。そこに1台の車が入ってきて、私の車の左側に駐車しました。ずいぶん自分の車の方(右側)に寄せたと思ったら、その車は車椅子仕様でした。助手席側から車椅子が見えたとき、その女子生徒が速やかに駆け寄り介助しました。教育理念が浸透している証拠ですね。』



教育理念が浸透しているとすれば、それぞれの家庭教育の土台があってこそこのことです。また、本校の一つ一つの教室で行われている教育の成果です。目が潤むほど嬉しいお話でした。

(株)クラロンは、2015年3月、第5回「日本で一番大切にしたい会社」大賞で、障がい者・高齢者・女性の雇用の実績が認められ、厚生労働大臣賞を受賞しています。

お約束はできませんが、このことについて、いずれ本紙でお伝えしたいと考えています。

県中大会の成績 (県大会出場)

女子ソフトボール：第1位

ソフトテニス 男子団体：第2位 女子団体：第1位

男子ダブルス 第1位：会田楓輝③・橋本蒼弥③ 第3位：山邊勇和③・岩本翔太③
第5位：吉田琉晟③・吉田航②

女子ダブルス 第1位：鎌田美樹③・永沼さくら③ 第2位：遠藤柚葉③・ミヒヤック杏菜③

バドミントン 男子団体：第2位 女子団体：第1位

男子シングルス 第2位：佐藤諒③

女子シングルス 第2位：上田彩乃③

男子ダブルス 第2位：藤田京平③・上妻浩聡②

女子ダブルス 第2位：角田陽真里③・野村萌③

第3位：八束愛海③・尾崎心愛③

卓球 女子シングルス 第5位：五十嵐早弥香③

柔道 男子団体：第2位

男子60kg級：第1位 佐藤優璃③ 第2位 関根大輔③ 第3位 岡島直輝③

81kg級：第1位 加藤陽岐② 90kg級：第3位 須釜拓海②

90kg超級：第3位 岩本優翔③

女子52kg級：第2位 五十嵐桃佳①

体操 男子団体：第2位



この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。